

「つぶつぶ王国の変遷と繁栄」



2021年 4月 4日 (日)

- 開場 16:30 / 開演 17:00 (約60分のプログラム)
- 豊中市立文化芸術センター 多目的室
(豊中市曾根東町3-7-2・阪急曾根駅より徒歩5分)
- チケット: 前売り 一般2000円 / 高校生以下1500円
当日券は各500円up・全席自由・未就学児はご遠慮ください
- 主催・企画・構成・演奏: 安永早絵子
- ゲスト: 大歳芽里 (ダンス) / 和田有隆 (パーカッション)
- お問合わせ・チケットのお求め「よるコン実行委員会」まで
090-5256-2502 yusunaga.mariperc@gmail.com



プログラム (予定)

- 「knock〜3つのダンス」 安永早絵子 作曲
- 「クラヴサン曲集」より ラモー 作曲 / 安永早絵子 編曲
- 「LIFE!」 安永早絵子 作曲
- 「つぶつぶ王国の繁栄」 安永早絵子 作曲 ほか



打楽器から生まれる、音のつぶ。そのつぶには温度と質感と意志があるように感じます。まるで生きもののようです。ふわりと浮遊するつぶ・ぱちんと弾けるつぶ・ころころと転がるつぶ・つぶとつぶがいくつもつながっている長いつぶつぶ。音のつぶを聞くと、満たされた気持ちになります。なつかしい・せつない・かわいらしい・いとしい。どれも当てはまるような気もするし、どれも違う別次元の感覚のような気もする。そんな、ひとつひとつの味わい。つぶつぶはどんどん広がって、いつの日かこの世界がつぶつぶでいっぱいになればいいな、と思います。 安永早絵子

【安永早絵子 やすなが さえこ】 マリンバ・パーカッション

兵庫県出身。幼少の頃からピアノ・作曲を学び、作曲家を志す。オーケストラ曲を書きたいという夢に向けて「楽器も経験すべし」と兵庫県立神戸高校にて吹奏楽部に入部。打楽器と出会い心奪われ、大阪音楽大学打楽器専攻に進む。

卒業後はオーケストラ・吹奏楽・アンサンブルなどで演奏活動する一方、自身の企画・考案・演奏によるワークショップやコンサートを数多く行う。打楽器のみならず「打つこと」にフォーカスした独自の活動は、ドキュメンタリー番組『熱き人』や神戸新聞『音モノ語り』など各メディアで取り上げられている。またホールや企業などからの依頼公演も多く、特に子どものための企画には定評がある。近年では、中学生職場体験授業でのゲストアーティストや家屋解体現場でのコンサートなど、少し風変わりな即興パフォーマンスにも参加。打楽器音楽の可能性を探求模索中の日々である。

作編曲活動にも積極的に取り組み、打楽器曲を中心に多数の作品を発表。神戸サンテレビ放送の音楽番組『花音』では、「兵庫ならではのさまざまな情景音を音楽に仕立てる」というテーマで、音楽制作・演奏を担当。また、後進の指導にも力を入れている。

現在、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 ティンパニ・打楽器奏者。

打楽器デュオ「だがつぎスイッチ」主宰。パーカッション パフォーマンス「Beat JACK」、絵本オペラカンパニー「おべるん」、打楽器とダンスのユニット「アニマルコンチェルト」、フルートとのデュオ「エビスリー」各メンバー。和歌山大学非常勤講師。
好きなものは、カレー、ルマンド、早起き、映画、虫。



【大歳芽里 おおとし めり】ダンス

昭和音楽芸術学院バレエ科卒業。音楽家、劇団、ヴィジュアルアーティスト等と共演を重ねる。仏のアンジェ国立現代舞踊センター、振付コース修了。ヴィンセント・マンソー、エマニュエル・ユイ、カミーユ・ボワテル、ダニエル・ベルトン等の作品に参加。さまざまな障害をもった人や子ども対象のレギュラークラスのほか、ワークショップ講師も務める。他の分野におけるダンスの可能性を探り、身近なところにダンスを広げる活動を進めている。好きなことは絶景探訪、共遊採集、面白発掘、ご当地グルメ。(写真撮影:白井孝明)



【和田有隆 わだ ありたか】パーカッション

幼少の頃からピアノやトランペットなど、数多くの楽器を経験。現在はカホン・ドラムをはじめとしたパーカッション並びにコーラスを軸に『誰もが楽しめるステージ』を常に意識し、主にポップスやロック、インストのバンドのメンバーとして活動中。そのほかにもシンガーソングライターとの共演、作詞や作曲、レコーディングへの参加、企業の宣伝用イメージソングの制作など、活動の幅は多岐にわたる。好きなものは、鳥(特に猛禽類)、昼寝、ゲーム、麺類、チョコパイ。